



Liberal Arts and Sciences

KOBE COLLEGE

Founded 1875

# NEWS LETTER

## NO.3

神戸女学院大学 公認心理師カリキュラム「心理実習」Bクラス

## 奈良女子大学附属中等教育学校での学外実習



奈良市にある**奈良女子大学附属中等教育学校**で学外実習を行いました。

奈良女子大学附属中等教育学校は、1973年から6年一貫教育を実施しており2004年に国立大学法人奈良女子大学附属中等教育学校に移行となりました。

**基本理念は「自由・自主・自立」**です。これらの精神を背景に形作られた校風により、これまでに数多くの個性的人材を輩出しています。

生徒数は1クラス40名(男子20名、女子20名)、1学年3クラス(120名)、6学年(720名)です。

6年一貫カリキュラムのため、1~6年生という呼び方をしています。

また、2005年度より、文部科学省から**スーパーサイエンスハイスクール(SSH)**に指定されています。2020年度から2024年度までの第4期では「科学技術イノベーションにより未来社会を創出する『飛躍知』を育むカリキュラム開発」をテーマとしています。

## 実習指導者の先生のお話

ご講義では、スクールカウンセラー(SC)について、①SCのシステムと活動内容、②1日の具体的な活動内容、③SCとしての留意点、についてお話をお聞きました。

SCとして求められることが、個人面接が出来ることから、**コンサルテーションやケース会議ができること**に変わってきているということを知りました。子ども・保護者・学校が抱える様々な問題に対

し、SCは心理支援職として、“個”を尊重することを基本の姿勢としつつも、その応用として**チーム学校の一員として活動していること**も学びました。

例えば、ケース会議に参加し、教員ら(ときには他機関他職種の専門家たち)と情報共有し、手立てを具体的に考えると聞き、自分の言動に対し、なぜそうしたのか説明できることも、SCには求められていると感じました。



良原先生から、小学校・中学校・高校でのSCの1日の流れを教えてくださいました。1日のスケジュールを具体的に聞いたことで、SCとして気を付けることや、限界があるということを知りました。

その中で、昼休みの20分だけで面談をしている時があり、それを見て、こんな短時間で話ができるのだろうかと思いに思いました。すると、良原先生が内申点に影響しないように生徒と相談した上で、この時間で面談をしていると補足で説明をしてくださいました。それを聞いて、ほとんどの生徒は学校に勉強をしに来ているということに改めて気づきました。カウンセリングルームは誰でも利用できる場所だと学んでいたにも関わらず、事前指導で、学校での問題について不登校やいじめを主に調べており、その印象が強かったせいか、教室に入ることが難しい生徒だけが利用すると勝手にイメージを持っていたことに気付かされました。

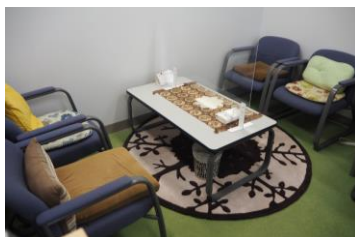
そして、SCは利益になるように働かないといけないというのは、こういったところであると感じました。

## 施設について

実習指導者の良原先生の説明を受けながら、学校内の様々な場所を見学させていただきました。

**校内適応指導教室**はカーテンで区切られた空間がいくつかあり、中には机と椅子がありました。保健室や生活指導室にも、囲いのある空間がありました。他にもライブラリーや準備室で1人の時間を過ごす生徒もいるそうです。

また、**カウンセリングルーム**では、



キャラクターものは刺激となるため控えているという工夫を知りました。

校内の様々なところで1人になれる一方で、単位取得の問題もあるため、先生方は誰かどこにいるのかを把握することに気を遣っているとのことでした。



作成：草野  
写真撮影：丁ヶ阪

この度は、お忙しい中、大変貴重な経験をさせていただき誠にありがとうございました。  
吉田校長先生、良原先生、奈良女子大学附属中等教育学校の皆様により感謝申し上げます。

編集後記

2023年6月13日(火)